

浄土真宗本願寺派



国際伝道 その7

本願寺 南米開教区（後編）

1950（昭和25）年4月19日、「本願寺ブラジル開教教務所」がサンパウロ市中心部に設立され、四邨覚勝師が開教教務所長として本山より任命を受ける。日本人移民が始まって以来、42年目にして浄土真宗本願寺派の正式なブラジル開教がここにスタートしたのである。

1954（昭和29）年3月21日、それまでの開教教務所が「本派本願寺南米開教本部」へと昇格し、初代開教総長に渡辺静波師が就任した。

同年5月6日から130日間の長期に渡り、

大谷光照門主嬉子お裏方ご夫妻による南米第一回ご巡教（ブラジル、アルゼンチン、チリ各国、アマゾン方面を含め南米大陸を縦横断）が行われたことは歴史的な出来事であったと言える。この勝縁をきっかけとして、多くの寺院が組織されていった。また伯国別院では得度が実施され、受式者33名を数えている。



ブラジリア本願寺の除夜会



第50回南米仏教青年大会（2016年）

1955（昭和30）年11月9日には、浄土真宗本派本願寺南米教団がブラジルにおいて正式な宗教法人としての承認を受けている。

1958（昭和33）年には、日本移民50周年を記念して、伯国別院本堂が建立された。その後もハイパーインフレをはじめとする激動の時代にもまれながらも、南米教団はさらなる成長を続ける。ブラジルの首都であるブラジリアには、日本、他開教区およびブラジル国内の全門信徒より集められた募財によってブラジリア本願寺が建立されることとなった。

*送迎マイクロバスを運行します。

講師 佐竹隆弘師

（山口県熊毛郡平生町極楽寺）

「安居会（夏の法要）」（善教寺本堂）
六月二十日（土） 朝席：午前十時～
朝席：午後一時半～

*毎月十六日に本堂において勤めております。
四月十六日（木）午後一時半～
門信徒祥月命日法要」（善教寺本堂）

「宗祖聖人月忌」

*送迎マイクロバスを運行します。

講師 松枝崇師

（東広島市河内町入野長照寺）

「永代経法要」（善教寺本堂）

四月十一日（土） 朝席：午前十時～
朝席：午後一時半～



ご縁に感謝

善教寺ホームページ『縁』 <http://otera.or.jp/>

メール zenkyo@otera.or.jp